

「地球は生きている」ことを体感する！

イエローストーン国立公園

世界遺産イエローストーン国立公園は、誰もが一生に一度は訪れてみたいと思うアメリカの国立公園として高い人気を集めています。その人気の理由は何でしょう？

1. イエローストーン国立公園は世界最初の国立公園

美しい景観と大切な生態系を保護する為にアメリカ政府によって管理されているアメリカの国立公園は現在63箇所。その中でも、イエローストーンは、1872年に政府により**世界で最初の国立公園**と認定されました。

1800年代当初、当時のトーマス・ジェファソン大統領はナポレオン支配のフランスから購入した未開の地を調査する為、軍人達を集めたリス・クラーク探検隊を結成。探検隊は1年半かかり現在のオレゴン州ポートランド付近の太平洋岸に到着し、アメリカ大陸初の陸路横断に成功しました。1800年代後半に探検隊がイエローストーンを始めとするミシシッピ川上流域の調査を行った際、ここイエローストーンに広がる見たこともない大自然に深く心を動かされ、「この霊域はすべての人類、すべての生物に自由と幸福を与えるために神が創造されたもので、決して私有物にしたり、少数の利益のために開発すべきものではない」として、政府に「この地を国民のために永久に保存するには国立公園とするように」と提言したとされています。そして、1872年には、大統領ユリシス・グラントがイエローストーン公園法に署名し、世界で初めての国立公園が誕生しました。日本は明治5年、近代化の最中初の鉄道が開通した年。その頃すでにアメリカでは国を挙げて自然保護を進めていたのです。また1978年にはイエローストーンは世界遺産にも登録されています。

2. 世界最大の湧出量を誇る温泉地帯

イエローストーン国立公園は火山地帯にあり、なんと地球上の温泉の半分、間欠泉の3分の2がこの公園内にあるのです。イエローストーン内には1万個を超える温泉が点在しています。その中でも**グランドプリズマティックスプリングス(Grand Prismatic Spring)**は全米でも最大の熱水

泉。温度は70度ほどで、常に熱いお湯が湧き出ています。目が覚めるようなエメラルドブルーや黄色、オレンジなどの色の美しいコントラストはここに生息している



▲グランドプリズマティックスプリングス

バクテリアによるもの。まさに「生きている」微生物がこの鮮やかな色を生み出しています。泥が混じって温泉がぼこぼこ煮立つ泥沼**マッドボルケーノ(Mud Volcano)**や、地底から湧き出した温泉に含まれる石灰分が長年かけて積み重なり、階段状に積み重なってできた温泉階段**マンモスホットスプリングス(Mammoth Hot Springs)**など今でもなお活動し続けている温泉によって形成された自然の美が堪能できます。

3. 豪快に噴き上げる間欠泉

公園内には500以上の間欠泉がありますが、イエローストーンのシンボルで世界最大級の間欠泉**オールドフェイスフル(Old Faithful)**は一定の間隔で忠実=Faithfulに噴き上がることからこの名称がつけられまし

た。現在はビジターセンターで噴き上がった水量などから予測して次回の噴出時刻が発表されるので、その時間に合わせて待ちます。前後10分程度のずれはありますが、大抵60~90分の間隔で噴き上がるようです。まさに地球の息吹を感じますね。



▲オールドフェイスフル

4. 多種多様な野生動物に出会える！

イエローストーンは北米で一番多くの野生動物を身近に見られる場所と言われています。バイソン、ブラックベア、ビッグホーンシープ、ムース、エルク、オオカミなどなど公園内ではラマー・バレー(Lamar Valley)とヘイデン・バレー(Hayden Valley)でよく野生動物に遭遇することができます。迫力のあるバイソンが目の前を通ることも。ここでは野生動物が優先。人間の乗る車は彼らが道を渡るのを待ってなければいけませんので、「**バイソン渋滞**」も度々起こります。

ところで、バッファローとバイソンの違いは何でしょう？実はバッファローは俗称で、正式な学名は**アメリカンバイソン**です。もともと、先住民たちの言葉で「バイソン」と呼ばれていたのですが、白人の入植者たちが、なじみのあるヨーロッパの水牛(バッファロー)と呼んでから定着してしまったようです。これからは正式にバイソンと呼びましょう。バイソンはアメリカ大陸にかつて1500万頭が生息していたといわれ、先住民の大切な食糧であり、生活の道具でもあり先住民にとってバイソンは生きていくために欠かせない存在でした。ところが、19世紀半ば、アメリカの白人は先住民を支配下に置いたため、彼らが食糧にしていたバイソンを殺害するようになり、1902年にはイエローストーン国立公園内の個体はわずか20数頭にまで減少して絶滅の危機にありました。ケビン・コスナー主演の映画「Dances with Wolves」でもそのシーンがありましたよね。その後、懸



▲アメリカンバイソン

命な保護活動によって生息数が現在は3万頭くらいまで回復しているようです。また同様に絶滅危機にあったハイロオオカミも健全な生態系の維持により、着実に増え続けていると言われています。現在も国立公園では動物保護の為、クマやオオカミからは90m、その他の動物からは25m以上距離を保って見物することを規則としていますので気を付けましょう。

このような自然の魅力いっぱいのイエローストーンの観光シーズンは6月~8月の短い夏がチャンス。その前後も公園は開いていますが、一部道路が閉鎖されて観光ポイントに行けなかったり、9月中旬には雪が降り始め、雪上車での移動が必要になったりします。夏は多くの観光客で混雑するので余裕を持って旅行の計画をしましょう。

(JTB USA, Inc [ルックアメリカンツアー](#) 伊藤美和)